

医療機関を支援し 市民の健康を守る

9月議会一般質問より

青梅市立総合病院は昨年度、24年ぶりの赤字。そのうえ、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、市内の開業医も含め、受診控えや感染対策等で、経営が厳しい状況です。

私はすべての医療機関と医療従事者への支援を求めました。また、コロナ禍でも、がん検診、予防接種、乳幼児健診は、受診控えを抑えなければなりません。

答弁では、市立総合病院の4月から6月までの収益が前年比で5億6千万円の減収とのことでした。開業医には、10万～30万円の助成が行われます。

病院・施設職員にPCR検査を！

市立総合病院では、8月26日以来クラスターが発生し、入院や外来受診にも大きな影響が出ています。議会では全会派一致して、総合病院全職員へのPCR検査の実施と感染防護服・マスクの購入へ助成を求め、9月議会の最終日にその補正予算7200万円が決定しました。**この教訓を市内医療施設、高齢者施設の対策に生かすべきです！**

廃止した公共施設の有効活用・再開を！

市は、昨年4月に閉鎖した沢井保健福祉センターの跡施設の利用事業者を募集しましたが、応募がありませんでした。文化交流センター(たまぐーセンター)は、音漏れなど不具合が多く、12月から3か月間改修工事が実施されます。豪雨災害やコロナ感染拡大防止のためにも、より多くの避難所が必要です。

私は、避難所や住民の健康増進のために、沢井保健福祉センターの再開と、釜の淵市民館は音楽活動に最適な施設のため、文化交流センターの改修工事の代替施設として、さらにその後も使用できるようにと求めました。市長は「その考えはない」と答弁しましたが、そもそも身近な公共施設を廃止統合する計画は無理があり、見直すべきではないでしょうか。



青梅市議会議員

藤野ひろえ

日本共産党青梅市議団

2020年12月 藤野ひろえ市議会報告

暮らしの相談、無料法律相談(要予約)はお気軽にどうぞ！

「新型コロナで収入が減った」、「災害の際に危険なところがある」など、市民のみなさんから多くの相談が寄せられています。市にお願いしたり、弁護士さんを紹介したりして、解決の為に奔走しています。何でも相談、ご要望はお気軽にご連絡ください。

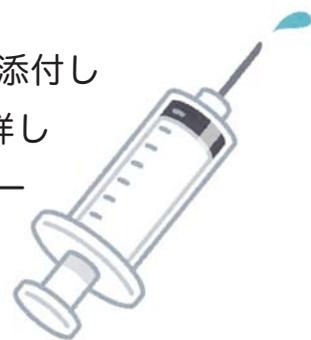
連絡先 090-4003-9987

子どものインフル 予防接種に補助 **2000円**

冬のインフルエンザ蔓延を予防することは、医療機関を守る新型コロナ対策としても重要です。

高齢者(65歳以上)は、東京都が全員を無料化しましたが、お子さん(1歳～中学生まで)については、市が2000円を補助します(一人1回のみ)。

申請は、領収書を添付して1月末までに。(詳しくは市健康センターへTel 23-2191)



学校がボロボロ トイレが臭い 外壁が危険

子ども
たちに

安心して通える学校を



市内の小中学校は、老朽化が深刻です。1月に第一小学校の外壁が落下し、日本共産党青梅市議団は、緊急の点検と対策を市に求めました。4月に行われた全校点検では、各校に外壁のヒビなどが確認され、5小や1中、西中など8校で補修工事が行われています(予定含む)。



西中学校

昇降口付近の外壁に危険が認められ、部分的な補修工事が行われました。

また、トイレが古く和式が多い状況です。以前は2024年にトイレ工事の予定でしたが、「早く改善を」の市民の声が市政を動かし、2022年度に計画が前倒しされました。さらに、早められるように働きかけていきます。



部分的に補修した箇所(一部)



第五小学校

第五小学校は、トイレは改修されましたが、外壁の劣化が深刻です。校庭側壁面は補修されましたが、まだ全体に改修が必要です。



東京都の補助継続を要請しました

東京都は、学校のトイレ改修が促進されるように工事費用の6分の1を補助していますが、この制度は今年度で終了します。

青梅市はまだ工事に3年もかかる計画であるため、来年度以降も補助を継続してもらえるように、日本共産党青梅市議団として東京都に要請しました。また、市にも計画をさらに進めるように求めています。

東京都知事 小池百合子 殿
東京都教育長 藤田裕司 殿

小中学校校舎の改修工事支援事業を来年度以降も実施することについて

2020年11月13日
日本共産党青梅市議団
藤野ひろえ
みねぎ拓実
井上たかし

日ごろから、貴職におかれましては、都民生活の向上と教育環境の整備に尽力されていくことに心から敬意を表します。

さて、青梅市では、市内小中学校のトイレの改修工事について、2025年度までに完了する計画とありますが、児童・生徒、保護者、教職員等から